

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践:時代と共に風化しているため、理念が上手く共有されていない状況にある。	会議などを有効利用し、職員全体で話し合いを設け、現在のふじいとに即したもののかを精査し、どの様に伝え浸透させていくのかを考えていく。	出退勤時に必ず目に入る場所に掲げる。朝の申し送り時に、理念を職員全員で唱和する。	12ヶ月
2	6	身体拘束をしないケアの実践:身体拘束をしない取り組みに関しては既に実施されているが、スピーチロックの部分に課題がある。職員によって声掛けにバラつきがあり、適切な声掛け対応が出来ていない。	敬語・尊敬語・謙譲語を上手に使い分け出来るようにしていきたい。馴れ合いにならない介護を目指す。	職員会議に勉強会を設け、適切な声掛け方法を身に着ける。職員同士で注意し合う。	12ヶ月
3	20	馴染みの人や場との関係継続の支援:コロナウィルスの影響で現在も遠のいてしまっている。	少しずつではあるが、情勢を良く見たうえで、面会や外出等の制限を緩和していき、人や場との関係修復に務めていきたい。	ご家族や・馴染みの人・その他の関係の方々に向けて、施設側からも細かい情報を発信して、伝えていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月